

## 【 山 北 町 】

### 校務DX計画

#### 1 GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストによる自己点検結果

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」（令和5年度）に基づく自己点検結果（確定値）より、本町の達成状況の得点は次表のとおりである。

	達成状況得点（満点）	神奈川県全域平均得点
学 校	352（1020）	352.5
学校設置者	220（540）	241.9

学校においては、神奈川県全域平均得点とほぼ同点であるものの、学校設置者では県の平均得点から下回っていた。その理由として次の要因が考えられる。

#### GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト

（学校設置者向け）（抜粋①）

No.	質問項目	回答
1	教育委員会主催の研修をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。	全くしていない
4	教育委員会主催の研修について、資料をクラウド上にアップロードし、いつでも参照できる環境としていますか。	全くしていない
5	教育委員会主催の研修アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	全くしていない

校務DXの取組として、学校との各種事務手続きやお知らせ等に関しては、順次ペーパーレス化及びクラウドサービスの利用を開始している一方、教育委員会主催の研修会やアンケートに関しては、DX化が進んでいない状況である。

解決に向け、現在教育委員会と学校で共通して導入している「Google Workspace」を活用し、

- ① Google Meet を利用した会議・研修会を実施することで、教職員が場所にとらわれず会議等に参加できる環境を整える。
- ② Google フォームを積極的に利用したアンケートの集計等を進め、集計に要する時間の削減を図る。
- ③ 資料についてはクラウド上で参照できるよう、Google ドライブに教育委員会と学校の共有ドライブを作成する等、ペーパーレス化を実施する。

などといった対応策が考えられる。

その他、G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト（学校向け）で本町の課題となっている項目として次の要因が考えられる。

G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト  
（学校向け）（抜粋①）

No.	質問項目	回答	割合
2	業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービス等を用い、P C・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか。	整えていない	100%
6	保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。	全くしていない	100%
10	児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか。	全くしていない	100%

解決策として、

- ① 保護者からの各種問い合わせや、児童生徒への連絡において、クラウドサービスを利用して実施できるよう、Google Workspace の活用促進を含め、対応を検討していく。
- ② 面談調整や家庭訪問等、保護者との日程調整についても、校務の時間を削減するために、現在導入されているクラウドサービスを活用しつつ、新たなシステムの導入も視野に入れる。などといった対応策が考えられる。

## 2 「教育D Xに係るK P Iの方向性」への対応状況と対策

「教育D Xに係るK P Iの方向性」への対応状況として、「G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト」（令和5年度）に基づく自己点検結果（確定値）より、本町の状況は次表のとおりである。

G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト  
（学校向け）（抜粋②）

No.	質問項目	回答	割合
1	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、P C・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。	全くしていない	100%
30	業務にF A Xを使用していますか。	使用している	100%
31	保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類はありますか。	ある	100%

G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト  
(学校設置者向け) (抜粋②)

No.	質問項目	回答
18	自治体のセキュリティポリシーとは別に、教育情報セキュリティポリシーを教育委員会独自に策定していますか。	策定している

上記の結果をもとに、「教育D Xに係るK P Iの方向性」に記載のある目標値を達成するため、次の事項について検討する。

- (1) 神奈川県の方針に伴い、町内での押印・署名は廃止する予定となっている。またF A Xの利用については原因を特定し、順次ペーパーレス化を推進する。
- (2) 校務支援システムへの手入力作業を削減するため、児童生徒の出欠状況等を自動的にシステムへ反映できるよう、対応を検討していく。
- (3) 教育情報セキュリティポリシーにおいては、近年の情勢を反映した改訂・更新を行えるよう、準備を進める。

### 3 I C T推進体制の強化

本町では1人1台の学習者用端末整備と同時にG I G Aスクールサポーターの派遣を開始し、令和3年10月以降はI C T支援員の派遣を実施している。山北町第6次総合計画においても「I C T支援員配置のさらなる充実を進める」としており、引き続きI C T支援員を配置し、校務D Xや学習者用端末の活用を推進していく。

また、G I G A第1期では、教育委員会と各学校の情報担当者が情報発信、意見交換を行う場を定期的に設け、連携してきた。第2期においても教育委員会、小学校、中学校が連携し、安心・安全で快適な教育環境の充実を目指す。

### 4 校務系ネットワーク・システム等の再構築に向けた検討

校務環境においては、教育委員会用コミュニティクラウド仮想基盤上に本町専用の環境を構築し、校務支援システムやグループウェアを活用している。現時点では、校務系・学習系ネットワークを分離した形でのネットワーク環境となっており、各校保有のネットワーク及び校務ファイルサーバーと、前述のクラウド環境を利用したハイブリッドでの運用となっている。

契約期間等も関係していることから、引き続き次世代校務D Xに向けた取組を意識したうえで、次期契約更新の際、校務系・学習系のネットワーク統合及び更なるクラウドの利活用を目指し、検討を進めていく。